

3月定例会・一般質問その2

県議選に対する米原市委員会見解を公表



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

読者・支持者の皆さんへ

今回の県会議員選挙米原市区の対応について見解を掲載します。また3月定例会での藤田議員の一般質問その2に対する市当局の回答を掲載します。これは当局の一次回答です。再質問も行っています。詳しくはホームページをご覧ください。

県議選にあたって訴えます

「しんぶん赤旗」読者および支持者のみなさん、日頃は日本共産党に、ご支援いただき有難うございます。3月31日告示、4月9日投票で実施されます滋賀県議会選挙についての日本共産党米原市委員会の対応について次の通りとします。

県議選米原市区は1人区となっており、現在立候補を表明しているのは「チームしが」の現職と自民党公認の新人（元米原市議）の一騎打ちが予想されています。日本共産党としては本来候補者を立て、政策を訴えて選挙に臨むべきですが今回は自主投票として臨みます。

2月県議会で自民党は改憲、大軍拡、原発再稼働の3つの意見書を提出するなど、現在の岸田内閣の暴走を更に推し進めようとしています。これ以上の暴走を許すことはできません。また自民新人は米原市議時代に学校給食の無償化などの市民の切実な願いに真っ先に反対してきました。また一方「選択的夫婦別姓の請願」に反対し、「夫婦同性を維持する請願」の紹介議員にもなってきました。こんな自民党候補者を伸ばすことは許されません。

一方、現在の三日月県政について、自民党も「チームしが」も与党として「国スポ」事業には約600億円をつぎ込み、開発優先の県政となっており、子ども医療費の無料化や学校給食費無料化にも背をむけ、教育予算も全国最下位となってい

ます。この三日月県政を支えているのが「チームしが」です。この状況を打破するためにも、大事な県議選です。

日本共産党は県下で議席増の5議席以上の確保と現職区である長浜市区の勝利のために頑張る決意です。今回退任される長浜市区の杉本県議には、米原市においても大変お世話になりました。米原市委員会も長浜市選挙区勝利のため全力で頑張る決意をして態度表明とします。

藤田議員の一般質問

マイナンバーカードと健康保険

Q、 マイナンバーカードの国保証の紐づけの現状は
A、 本市の国民健康保険の保険証利用登録者数は令和5年1月15日現在で3,314人であり、全被保険者数の47・13%となっています。

Q、 市内の医療機関でマイナンバーカードが使える割合について
A、 マイナンバーカードを健康保険証として利用できる市内の医療機関数は、厚生労働省のホームページで公表されており、令和5年2月12日現在では、医科が7施設、歯科が5施設、薬局が7施設の計19施設で、割合については41・3%となっています。

Q、 利用するためのパスワード管理について
A、 初回のみマイナンバーサイトにアクセスし、マイナンバーカードを健康保険証として利用する紐付け設定が必要となります。その後、医療機関の受付など

に設置されている顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードをかざし、顔認証を行うことで利用できる仕組みとなっています。また、カードリーダーにはパスワード入力による利用選択も可能とはなっています。パスワードを忘れた場合は、本庁舎などの窓口に来庁いただければ、再設定することができます。

紛失の場合や悪用は

Q、 紛失した場合の診察や悪用、再交付までの期間について
A、 国のホームページでは、銀行のキャッシュカードやクレジットカードなどと同様に、持ち歩いて使うことを広報されています。万が一、マイナンバーカードを紛失してもパスワードを知らなければ利用できない仕組みとなっています。さらに、カードに付帯するICチップの情報を無理やり読み込もうとすれば、チップが自動的に壊れる仕組みとなっており、悪用することもできません。

なお、マイナンバーカードの再発行に当たっては、通常、約1か月程度の期間を要しますが、国では健康保険証との一体化利用に向けて、再発行期間中に医療機関を受診できないことを避けるため、再発行に要する期間短縮の検討が行われております。今後の動向に注視し、必要に応じてお知らせしていきたいと考えております。

藤田議員の一般質問ビデオ



